

2015 年度第 1 回にいがた摂食嚥下障害サポート研究会講演会開催報告

新潟大学大学院医歯学総合研究科 共催
一般社団法人 新潟県歯科衛生士会 後援
新潟県歯科医師会 後援
新潟県言語聴覚士会 後援

講演名 「地域貢献のためにできること・すること」

講演者 藤谷順子先生 (国立国際医療研究センター病院 リハビリテーション科)
原田和昭先生 (ハラダ歯科医院・福岡県)
井上 誠先生 (新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野)
泉 直也先生 (新潟県厚生農業協同組合連合会 柏崎総合医療センター歯科口腔外科)

日 時 平成 27 年 5 月 24 日 (日) 13 時～16 時 20 分

場 所 新潟大学有壬記念館

参加者数 111 名

参加企業 10 社

概 要

本講演会では「地域貢献のためにできること・すること」と題して、4 名の講師にご講演いただいた。

藤谷先生には「複数病院・診療所医師・歯科医師・地域介護福祉サービスによる多対多の連携の構築」として、チーム医療のあり方や、行政主導の連携である「新宿ごっくんプロジェクト」についてご紹介いただいた。複数の医療機関が、同じチェックシートを用いることにより、情報共有が行いやすくなることも合わせてご紹介いただいた。

原田先生には、開業医の立場から、「摂食嚥下障害とどう向き合うか？」というテーマで、ご講演いただいた。嚥下障害の治療の流れについての概説の後、実際の症例について動画を含めてご提示いただいた。また、退院時の共同指導や、情報の共有方法についてもご紹介いただいた。

休憩時間には、企業展示会場で、活発な情報交換が行われた。

第 2 部では「嚥下障害専門医育成に向けた取り組み」と題し、概要説明と報告が行われた。まず概要説明では、井上先生に、新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション科、および本研究会が行ってきた「嚥下障害専門医」育成のための講演会や研修についての紹介と、今後期待されることについてご講演いただいた。次に、「嚥下障害専門医」の研修を受講中である泉先生から、研修内容と、柏崎総合医療センターにおける取組みおよび実際の症例について紹介いただいた。

総合討論では、講師 3 名と座長が一堂に会し、講師間および参加者間ともに活発な討論が行われた。

参加者によるアンケート結果 (有効回答数 77 名)

1. 参加者の性別

- ①男性 30名 (39.0%) ②女性 44名 (57.1%) ③無回答 3名 (3.9%)

2. 参加者の年齢層

- ①10歳代 5名 (6.5%) ②20歳代 9名 (11.7%) ③30歳代 17名 (22.1%)
④40歳代 18名 (23.4%) ⑤50歳代 19名 (24.7%) ⑥60歳代 5名 (6.5%)
⑦無回答 4名 (5.2%)

3. 参加者の職業

- ①学生 8名 (10.0%) ②会社員・公務員 3名 (3.4%)
③医療関係者 65名 (84.4%) (医師2名, 歯科医師20名, 歯科衛生士26名, 看護師2名,
言語聴覚士5名, 管理栄養士5名, 大学教授1名, 記載なし4名)

4. 今回の講演会は有意義なものでしたか

- ①まったくそう思う 35名 (45.5%) ②まあまあそう思う 40名 (51.9%)
③どちらとも言えない 1名 (1.3%) ④あまりそう思わない 1名 (1.3%)
⑤全くそう思わない 0名 (0%)

5. 今回の講演会はあなたの興味に対して適切でしたか

- ①まったくそう思う 28名 (36.3%) ②まあまあそう思う 45名 (58.4%)
③どちらとも言えない 2名 (2.6%) ④あまりそう思わない 1名 (1.3%)
⑤全くそう思わない 0名 (0%) ⑥無回答 1名 (1.3%)

6. 講演内容の難易をどう感じましたか

- ①非常にわかりやすかった 27名 (35.1%) ②まあまあわかりやすかった 44名 (57.1%)
③どちらとも言えない 3名 (3.9%) ④あまりわかりやすくなかった 3名 (3.9%)
⑤まったくわからなかった 0名 (0%) ⑥無回答 0名 (0%)

7. 今後このような主旨の講演会を開催することについては

- ①非常に賛成する 61名 (79.2%) ②まあまあ賛成する 13名 (16.9%)
③どちらともいえない 3名 (3.9%) ④あまり賛成しない 0名 (0%)
⑤まったく賛成しない 0名 (0%) ⑥無回答 0名 (0%)

8. その他の意見

<今後の研修会で希望するテーマ>

- ・若年性認知症のような指示の入らない方のリハに困っている。そういう研修会を望む。
- ・DH のできること, 多職種連携について講演希望
- ・Basic な口腔ケアセミナー (準備, 道具, ケアマネとの連絡, サービス担当者会議, 実際のやり

方)、点数の取り方(保健・介護)を、聞いてみたい。特にDH対象のもの。

- ・グループワークの開催希望。
- ・地域で実際にかかわっているケアマネ、包括支援センター等、介護、福祉関係の方々からの意見をきけたら嬉しい。
- ・DH 向けの講演会希望
- ・勉強し始めなので、少し難しかった。基礎の勉強会などがあるとよい。
- ・乳幼児・小児の嚥下サポート内容を行っていただけるとよい。
- ・医療と介護の壁は取り除けるか?介護職の講演希望。
- ・ワークショップ形式があってもよいのかも。
- ・地域における多職種連携(食支援・嚥下)で成果をあげている講師のお話を聞きたい。
- ・義歯と嚥下の関係について具体的に聞きたい。
- ・地域や多職種連携についてのノウハウを知りたい

<ご意見(書かれた内容のままを記載)>

- ・医師・歯科医師の壁がなくなることが嚥下障害を進めるための一番の近道だと思います。
- ・誤嚥性肺炎に関して多くの誤解があるように思う。特にその予防に関して、ST が多くのことができると思っているような整形 Dr もいます。また、誤嚥性肺炎を引き起こす要因は嚥下障害なのかどうかについてなど、できるだけ整理できればと思います。
- ・地域貢献・多職種連携の講演を聞き、「新潟では難しい」とならずに実行されることを望みます。VEで訪問を行う評価医が増えると良いと思います。
- ・スムーズな地域連携のために、県下で統一できる項目があって提示してもらえれば、より簡単にできると思った。この回も顔の見える関係ができればいいと思う。コメディカルの参加がもっと多くてもいいのでは。
- ・症例がもっとみたかった
- ・連携の必要性や、新潟の現状などがよくわかった。企業ブースでもみたように学生にはない見やすい分野だと思うので、今後参考にしていきたい。
- ・まだ授業でやっていないような内容が聞けておもしろかった。勉強のモチベーションがあがりました。
- ・泣きごとですが、地域のつながりを作るのが難しい(やり方、方向がわからない)
- ・藤谷先生のご講演の3次医療機関より、あぜりあ診療所(2次医療機関)や在宅での介入地域の診療所のかかわりを聞きたい。
- ・口腔リハの先生方へ:在宅や施設への訪問診療による摂食嚥下評価をお願いしたい。開業歯科の先生でやって下さる方が少ないため。
- ・病院のスタッフに対して歯科の必要性を広めるような取り組みをしてほしい。
- ・院内の話だと栄養士の話もよく出てきますが、地域へ移ると全く存在感がないことを痛感しました。顔の見えるネットワーク作りで栄養士も外にでていければと思います。ぜひ、この研究会でそんな関係性が構築できればと思います。毎回懇親会をしてほしい!
- ・地域での摂食嚥下の取り組みについて聞けてよかった。
- ・地域によりサポート形態は異なるが、様々な職種と交流し手探りで少しずつその地域にあった形を作っていくのが大事なのだと感じた。

